

Frontline Report

エッジAIで“金融の現場課題”に挑む —— Liquid AI活用アイデアが最優秀賞に

映像は増える一方だが、回線もコストも無限ではないし、プライバシーへの配慮も必要——AIを活用した映像解析を考えるほど、この当然の制約が重くのしかかる。そんな前提をひっくり返す発想として注目されたのが「セマンティックカメラ」だ。撮影した静止画／動画から要素を抽出し、画像自体ではなく“意味情報”として扱うことで、転送・処理するデータ量を抑える。結果として、運用負荷を抑えながら、プライバシー保護にも配慮した映像データ活用が可能になる。

このセマンティックカメラをテーマに、SHARP社主催のオンライン・ハッカソンが開催された。当該イベントに、CTCのエンジニア有志チームが参画し、最優秀賞を獲得した。提出したのは、コンビニATMのカメラで犯罪を未然に抑止するエッジAIサービス『Smart Semantic Shield(通称S3)』である。ネットワークに負荷をかけず、従量課金型のクラウドAIサービスにも依存しない形で、エッジ(端末)側で「危ない兆し」を拾い、利用者に行動を思いとどまらせる——現場の制約に正面から向き合った“犯罪防止”を試作した。

実装の核に据えたのは、Liquid AI社の視覚言語モデル(LFM2-VLM)だ。同社は、LFM2-VL系を、低遅延でデバイス配備しやすいマルチモーダルモデルとして位置づけ、軽量構成のモデルも含めてオープンウェイトで提供している。



ハッカソン作品としては、ATM操作時の覗き込みや、スマホ通話をしながらの操作といった犯罪に繋がるリスクイベントを検知し、警告を出すところまで試作した。映像をクラウドに送って解析するのではなく、“セマンティック”として扱える情報に落とし込み、エッジで素早く判断して介入する。審査員からは「実際のニーズに基づくリアルなユースケースであり、社会的価値も高い」とコメントを受けた。

そのほかにも、思い出せない人の名前を耳元でささやいてくれるサービス、フードコートの座席混雑モニタリングアプリ、顧客が着ている服のロゴから嗜好を推定して店舗をレコメンドする仕組みなどのユニークな作品が並んだ。

日経クロステックActive主催のローカルLLMセミナーにCTCが登壇

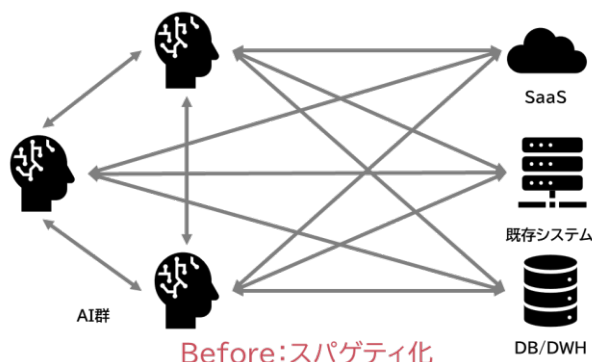
1月27日、日経クロステックActive主催の「企業のAI戦略を変える！ローカルLLMと生成AI業務アプリの最前線」に、CTC福永が登壇した。立命館大学ビジネススクール大学院の桑津浩太郎氏からは、オンプレ導入成功の秘訣が語られた。CTCからは、コスト構造の変化やAIガバナンスを踏まえたクラウド・オンプレ使い分けの視点を共有した。

製造業向けAIエージェント活用セミナーに、CTC×UiPath社でパネル登壇

1月28日のマジセミ主催セミナー「【製造業向け】AIエージェントで変わる現場業務」に、CTCメンバ(湊・松嶋)がパネラーとして登壇した。UiPathの活用実績や、AIエージェントを起点とした自動化アプローチを紹介。Q&Aでは、エージェントの使い分けや導入時の留意点、CTCの支援範囲など具体的な質問が多く寄せられた。

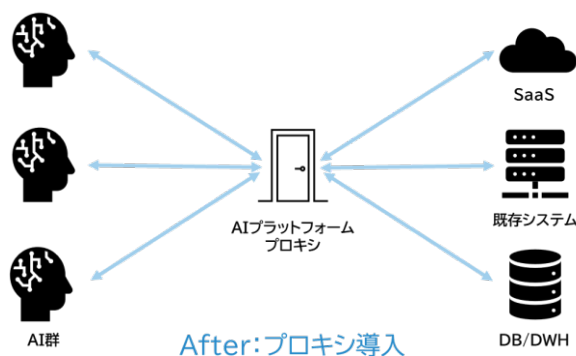
Proxyを制する者がAIプラットフォームを制する — 技術・ビジネス両面の争点

生成AI活用が広がるほど、LLM／RAG／業務アプリ／SaaS／既存システム／DB・DWHなどが複雑に絡み合い、「AIが呼び出す先(ツール・API・データ)」「AIを呼び出す元(アプリ・ワークフロー)」の接続関係が爆発的に増加する。その結果、認証情報・権限・ログなどが個別最適に散らばり、「誰が・どの権限で・どこに・何をしたか」をトレースできず、



セキュリティ／監査／運用などのボトルネックになる。

この課題に対し、解決の決定打になりうる論点がProxy(プロキシ)だ。ここでProxyは、単なるデータ中継点ではなく、AIと周辺システムの接続を束ねる“制御点”を指す。これにより、認証・認可、ポリシー適用、監査ログ、データ境界(持ち出し／マスキング等)を横断的に適用できるため、連携が増えてもガバナンスを保ちやすい。連携先追加も、権限・ログ・審査の作法を揃えて行えるため、運用負荷を抑えながら導入スピードと拡張性の両立にも繋がる。要件とリスクに応じた“勝ちパターン”を整理し、設計から運用まで一貫して提示できる状態を早期に作ることが重要だ。



Market Pulse



Rank	Model (Code Arena)	Score
1	claude-opus-4-5-20251101-thinking-32k	1500
2	gpt-5.2-high	1472
3	claude-opus-4-5-20251101	1470
4	gemini-3-pro	1453

コード生成部門で、Claudeが優勢

LLM性能評価ランキング「LM Arena Leaderboard」のコード生成部門では、テキスト生成で強さを見せるGeminiを抑え、Claudeの優位が目立つ。CTC開発者の間でもClaudeの評価は高く、用途に応じたモデルの使い分けがいっそう重要になってきている。【2026.2.1時点】

Crossroad

生成AI × ハッカソン

金融NEXT企画部

駒場 成美 さん

同僚に誘われてあるハッカソンに出場したのがきっかけで今ではすっかりハッカソンの虜



です。複数のコンペに参加し、入賞もいくつか経験させてもらっています。技術習得に繋がるのはもちろん、アイデアが形になったり、作品にフィードバックをもらえるのが楽しいです。生成AIは、ハッカソンでも欠かせない相棒になりましたが、アイデアを捻って独自性を出す部分には、人の力が不可欠です。AI時代の今だからこそ、こうした挑戦を通じて「人が価値を生む領域」に向き合っていきたいです。



無限の未来と、幾千のテクノロジーをつなぐ。

CTC Financial Services Group



CTC金融事業グループの最新情報は
オウンドメディアサイトへ！

<https://financial.ctc-g.co.jp/>



お問い合わせ



伊藤忠テクノソリューションズ
金融事業グループ金融NEXT企画部

✉ fsgnext-biz-dev@ctc-g.co.jp